

# 10階 ギャラリー 報告とご案内

4月・5月  
サカイノビーさん作品展示 「はるのおさんぽ」

「家族で出かける、春の散歩」をテーマに、多方面で活躍するイラストレーター、サカイノビーさんの作品を展示しました。さまざまな家族の散歩の様子を、ほのぼのとしたタッチで描いた作品8点が並んだギャラリーは、温かい雰囲気にも包まれ、多くの来館者が見入っていました。



●7月は「数字で見る男女共同参画社会」を展示しています。

# 10階 特集本コーナー ご案内

## ■4月「いま、子どもに読んでもらいたい本あれこれ」

童話作家・アンデルセンの誕生日にちなんで定められた「国際子どもの本の日」にあわせて、絵本や児童書を中心に、小学生～中学生の子どもたちに読んでもらいたい本を集めました。なかでも『青空のむこう』(933シ)など、「世界一子どもの気持ちがわかるおじさん」と称される、アレックス・シアラーの作品が多く貸し出されました。



## ■5月「あなたのココロが元気になる本」

ちょっとした気持ちの疲れが出やすいこの季節。『働く女性のためのこころのサプリメント』(146.8ハ)など、心を元気にするためのノウハウを教えてくださいの本や、登山家・田部井淳子さんの『高いところが好き』(290.9タ)など、力強く前向きな人生を歩む女性の本が多く貸し出されました。



●7月は「女性とスポーツのみかた」、8月は「夏休みの宿題に役立つ本」を特集する予定です。

\* 図書名の末尾 (933シなど) は、図書の請求記号です。らぶらすの資料室で図書をお探しの際に、ご活用下さい。

# 講座案内

## しもきたパパ・バギーの日 「パパといっしょに スキンシップあそび」

講師：南 夢未(みなみ ゆめみ) あそび工房主宰  
日時：平成21年8月29日(土) 午前10時30分～11時30分  
会場：らぶらす9階 子ども室  
対象：6か月～2歳の子どもと父親  
定員：10組  
申し込み方法：8月15日(土) 午前10時から電話・FAXで先着順  
保育の有無：なし  
申し込み先：TEL.03-5478-8021 FAX.03-5478-8026

# 相談のご案内

## ●女性のための悩みごと相談

暮らしの中で抱える悩みごとの相談に、専門カウンセラーが応じます。

毎週水曜日 午後1時～8時(午後5時～6時を除く)  
面接(予約制・受付は相談当日午前11時～午後6時)  
電話03-5478-8023

## ●働きたい・働く女性のためのキャリアカウンセリング相談

求職や転職・職場での人間関係など仕事に関する相談に専門のカウンセラーが応じます。

第1土曜、第3火曜日 午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)  
面接・電話(予約不要)  
電話03-5478-8023(相談日のみ)

## ●女性のための就業バックアップ相談

仕事のみつけ方や家庭との両立など就業に関する不安をご相談ください。

第2、第4金曜日 午前9時～午後4時  
面接(予約制・前月1日から当日まで受付)  
電話03-5478-8021

# 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

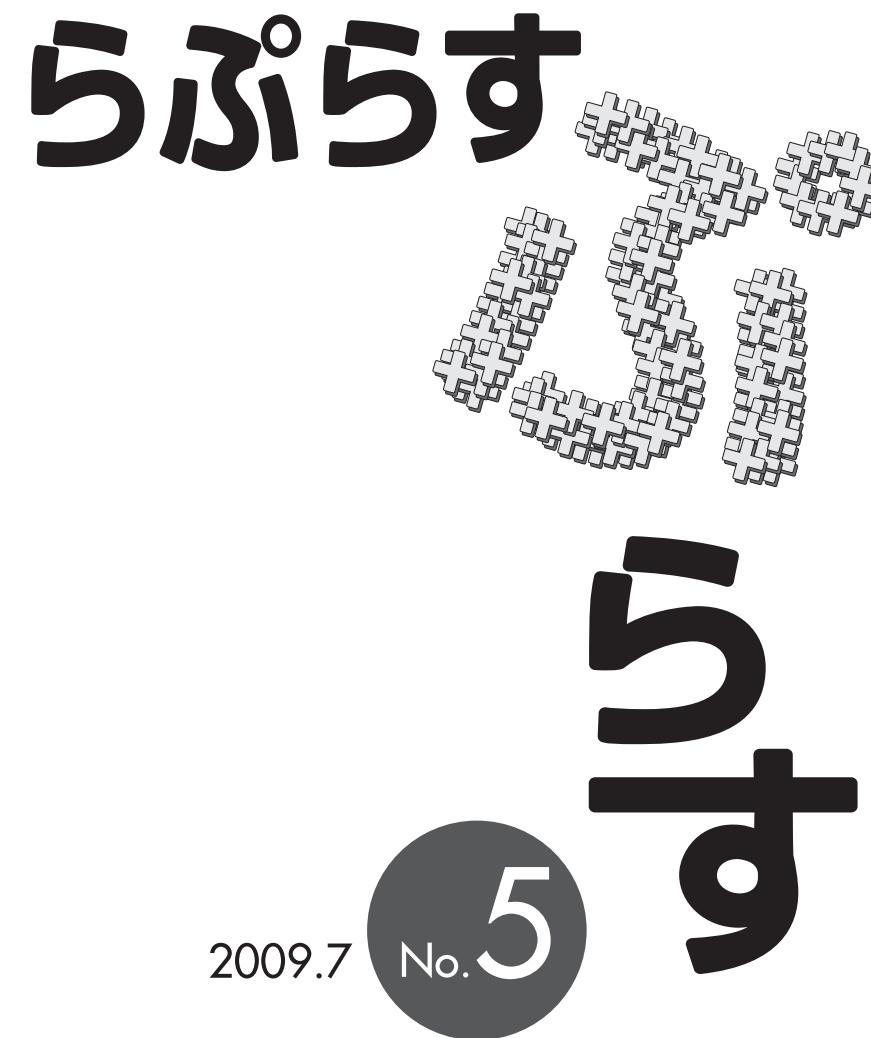
世田谷区北沢2-8-18  
北沢タウンホール9～11階  
小田急線、京王井の頭線  
「下北沢」駅南口から徒歩5分  
小田急バス「北沢タウンホール」下車



らぶらすの情報は運営団体のNPO昭和のホームページでもご覧いただけます。  
www.npo-showa.net

# 世田谷区立男女共同参画センター

# らぶらす情報ガイド



・「災害と女性」を考えるシンポジウム報告  
・男女共同参画社会基本法制定から10年  
ご案内

・今月の新着書籍  
・ギャラリー・特集本コーナーのご案内

## 講座案内

・しもきたパパ・バギーの日 「パパといっしょに スキンシップあそび」

# 実施事業報告

## 「災害と女性」を考えるシンポジウム

平成21年5月16日(土)、世田谷区役所第3庁舎 プライトホール



近年、被災後の地域復興や、災害に強いまちづくりを進めるにあたって、女性の参画を求める声が各地で高まっています。そうした状況を背景として、「災害と女性」を考えるシンポジウムを開催しました。

「男女共同参画の視点で考える防災・減災・復興」

と題した基調講演では、神戸大学経済経営研究所准教授の相川康子氏が、「なぜ、防災に男女共同参画の視点が必要なのか」という問題意識を基礎に、避難所でのプライバシーの欠如や、女性に対する暴力など、過去の災害で起こった問題を指摘。また、地域の防災訓練などで見られる、性別による役割分業の傾向にも疑問を投げかけ、災害対策の主体として、女性の参画が不可欠であることを指摘されました。

横浜市女性と防災市民企画委員の土屋真美子氏、神戸を忘れない・せたがや代表の星野弥生氏、世田谷区職員で、被災地に派遣された経験のある雨宮春美氏が参加したパネルディスカッションにおいて、特に都市部では、若年層の女性の一人暮らしや夫婦のみの世帯が多く、地域でのつながりが薄いことにより、被災時に情報を得ることが難しいといった問題があるとの意見が出されました。防災や災害時の対応を考えるうえで、日ごろの交流を基礎とした人と人とのネットワークづくりが重要だという考え方が示されました。

# 男女共同参画社会基本法制定から10年

平成11(1999)年に男女共同参画社会基本法が成立してから、早くも10年が経とうとしています。

この間、「ストーカー規制法」や「DV防止法」、「性同一性障害者特例法」など、人権にかかわる重要な法律が次々と制定されるとともに、

「男女雇用機会均等法」や「育児・介護休業法」など、私たちの暮らしにかかわる法律の改正も進んでいます。

ここでは、男女共同参画社会の実現に向けた、国連や国、世田谷区の取り組みを振り返り、その着実な歩みを確かめます。

なお、らぶらす10階のギャラリーでは、7月末まで「数字で見る男女共同参画」を展示しています。ぜひお運びのうえ、ご覧ください。

国連・国の取り組み		世田谷区の取り組み
平成6年(1994年)	男女共同参画室を設置	男女共同参画推進委員会を設置
平成7年(1995年)	「育児・介護休業法」の成立 第4回世界女性会議開催、「北京宣言及び行動綱領」の採択	
平成8年(1996年)	「男女共同参画2000年プラン」の策定	
平成9年(1997年)		「男女が共に生きるせたがやプラン」を策定 生活文化部男女共同参画推進室を設置
平成10年(1998年)		
平成11年(1999年)	国連「女子差別撤廃条約の選択議定書」を採択 「男女共同参画社会基本法」が成立	
平成12年(2000年)	国連特別総会「女性2000年会議」を開催 「男女共同参画基本計画」を策定 「ストーカー規制法」が成立	生活文化部子ども・男女共同参画課設置 せたがや女性センター“らぶらす”から 男女共同参画センター“らぶらす”に名称を変更
平成13年(2001年)	内閣府男女共同参画局を設置 「DV防止法」が成立	
平成14年(2002年)		
平成15年(2003年)	「性同一性障害者特例法」が成立	
平成16年(2004年)	「DV防止法」を改正 「育児・介護休業法」を改正	「男女が共に生きるせたがやプラン調整計画」を策定
平成17年(2005年)	「男女共同参画基本計画(第2次)」を策定	世田谷区男女共同参画基本計画策定委員会を設置
平成18年(2006年)	「男女雇用機会均等法」を改正 第1回東アジア男女共同参画担当大臣会合を開催	
平成19年(2007年)	第2回東アジア男女共同参画担当大臣会合を開催 「DV防止法」を改正	「世田谷区男女共同参画プラン」を策定
平成20年(2008年)	「性同一性障害者特例法」の改正	
平成21年(2009年)		生活文化部男女共同参画担当課設置

## こんな本、届きました!

10階の資料コーナーに新しく届いた本の一部をご紹介します。らぶらすは夜10時まで開館しているので、お仕事帰りに立ち寄ることも可能です。

\* 図書名の末尾(407カなど)は、図書の請求記号です。らぶらすの資料室で図書をお探しの際に、ご活用下さい。

### ●女性科学に向いてないなんて、誰が決めたの?

自然科学分野への女性の進出は、大きな課題のひとつ。科学者や技術者としてキャリアを積んでいる、多くの女性たちの姿を描いた本を集めました。

鳥養映子・横山広美編(2008)  
『素敵にサイエンス 研究者編』  
近代科学社(407ス)



JSTさがけ担当(2006)  
『さがげものがたり』  
アドスリー(407サ)

黒田玲子(2002)  
『科学を育む』  
中公新書(404ク)



W.A.スピックス(2009)  
『科学を選んだ女性たち』  
オーム社(407カ)

### ●平和であることのありがたみを、じっくりかみしめて

毎日が平和なのは、そのために努力した人たちがいればこそ。たくさんの人たちが築いてきた「平和」という財産を、大切にしたいものです。



野村まり子(2008)  
『えほん 日本国憲法』  
明石書店(323.1ノ)



早乙女勝元(2001)  
『死んでもプレストを』  
日本図書センター(913.6サ)

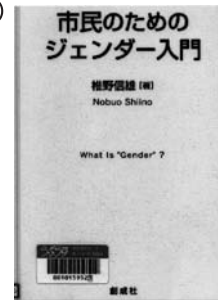
青山薫ほか(2008)  
『もうひとつのノーベル平和賞』  
週刊金曜日(319.8モ)



### ●「男女共同参画社会」のことをもっと知るために

男女共同参画社会の未来像はどのようなものか。男性も女性も、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会をつくるためには、何が必要なのか。そんなヒントにあふれた本です。

椎野信夫(2008)  
『市民のためのジェンダー入門』  
創成社(367.2シ)



レイフ・クリスチャンソン(1999)  
『おんなのこだから』  
岩崎書店(E八)



ベル・フックス(2003)  
『フェミニズムはみんなのもの』  
新水社(367.2フ)

